



Webアプリケーション開発 プロジェクト計画書

- AIツール導入管理アプリ開発

AIツール導入管理アプリ

企業におけるAIツールの導入・管理を効率化し、運用コスト削減と活用度向上を実現するWebアプリケーションの開発プロジェクト

プロジェクト背景

- 企業内AIツール導入の急速な普及
- ツール管理の複雑化と運用コスト増加
- 統合管理プラットフォームの必要性

主な特徴



ユーザー認証

SSO対応、多要素認証、ロールベースアクセス制御



データ管理

AIツールの使用状況追跡、コスト管理、ライセンス管理



レポート機能

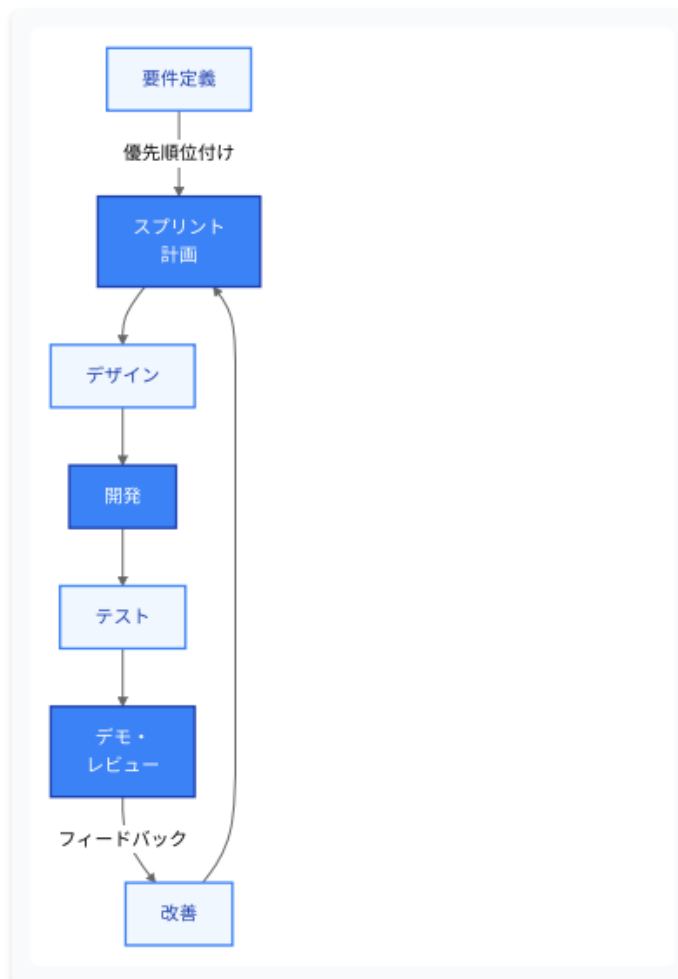
分析ダッシュボード、使用状況レポート、カスタマイズ可能な指標



拡張性

API連携、サードパーティ統合、カスタムプラグイン対応

🔄 アジャイル開発サイクル



アジャイルを選択する理由

- ✓ 要件の変更に柔軟に対応可能
- ✓ 早期のフィードバックでリスク低減
- ✓ 定期的な成果物の提供で信頼関係構築
- ✓ チーム協働を促進する透明性の高い進捗管理

主要コンポーネント



スプリント計画

2週間単位の開発サイクル、明確なゴール設定、タスク分解



デイリースクラム

15分の短時間ミーティング、障害の早期発見と対応



レトロスペクティブ

各スプリント後の振り返り、継続的な改善プロセス

スプリント構成

スプリント1

基本設計
認証基盤構築

スプリント2-3

コア機能実装
データモデル構築

スプリント4-5

レポート機能
UI/UX改善

スプリント6-8

運用機能実装
テスト・改善

スプリント9

最終テスト
リリース準備

スコープ概要

本プロジェクトでは、AIツール導入管理アプリケーションの以下3つの主要機能の開発を行います。各機能は段階的に実装し、相互に連携して企業のAIツール管理を効率化します。

ユーザー認証



- ✓ シングルサインオン (SSO)
- ✓ 多要素認証 (MFA)
- ✓ ロールベースアクセス制御
- ✓ 権限管理システム

開発目標

セキュリティ基準に準拠した堅牢な認証システムの構築と、企業内既存システムとの統合

データ管理



- ✓ AIツールインベントリ管理
- ✓ ライセンス・契約管理
- ✓ 使用状況追跡
- ✓ コスト最適化分析

開発目標

企業内AIツールの効率管理システム構築と、リアルタイムデータ同期・分析機能の実装

レポート機能



- ✓ カスタムダッシュボード
- ✓ 使用状況分析レポート
- ✓ コスト・ROI分析
- ✓ データエクスポート機能

開発目標

インタラクティブかつカスタマイズ可能な分析ダッシュボードの構築と、意思決定支援機能の実装

開発フェーズと優先順位

Phase 1

認証基盤構築
初期データスキーマ

Phase 2

データ管理機能
基本レポート

Phase 3

高度な分析機能
拡張・統合API

プロジェクト工程表

5/8

6ヶ月間の開発スケジュール

■ マイルストーン ■ フェーズ1 ■ フェーズ2 ■ フェーズ3 ■ テスト



フェーズ1の成果物

- 要件定義書
- システム設計書
- 認証基盤システム
- 初期データモデル

フェーズ2の成果物

- SSO/MFA実装
- データ管理モジュール
- 基本レポート機能
- 統合テスト報告書

フェーズ3の成果物

- 高度分析ダッシュボード
- システムテスト報告書
- ユーザーマニュアル
- リリース版アプリケーション

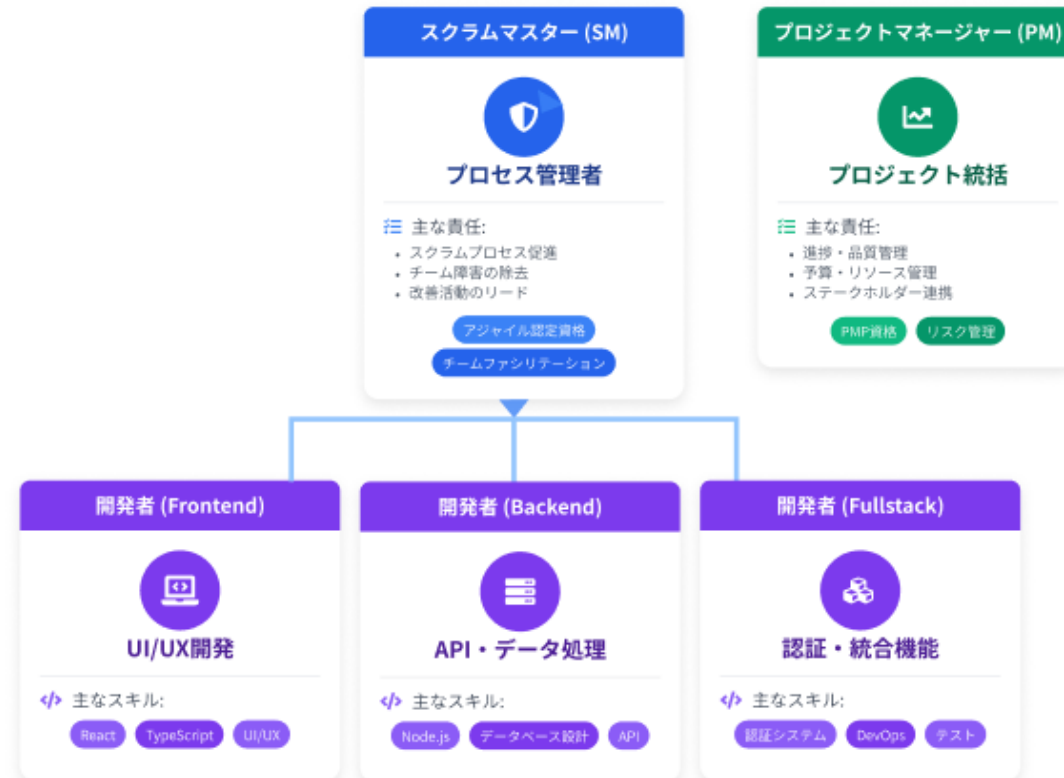
プロジェクトチーム構成

6/8

チーム編成

アジャイル開発に特化した少数精鋭のチーム構成 - 計5名

● SM: 1名 ● PM: 1名 ● Dev: 3名



コミュニケーション体制

🔄 **デイリースクラム**
15分・毎日・進捗共有

📅 **スプリントレビュー**
2週間毎・成果確認

🔍 **レトロスペクティブ**
2週間毎・改善検討

プロジェクト予算

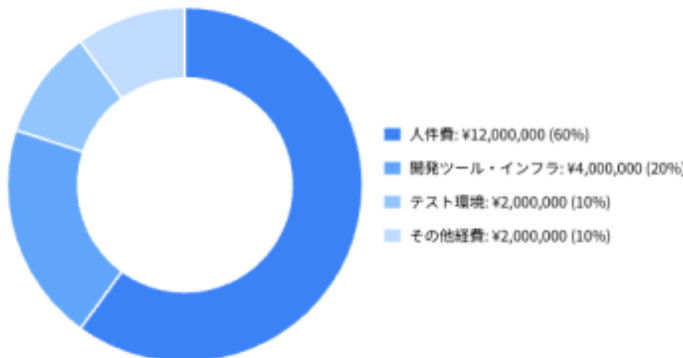
7/8

予算総額

6ヶ月間のWeb開発プロジェクト全体費用

¥20,000,000

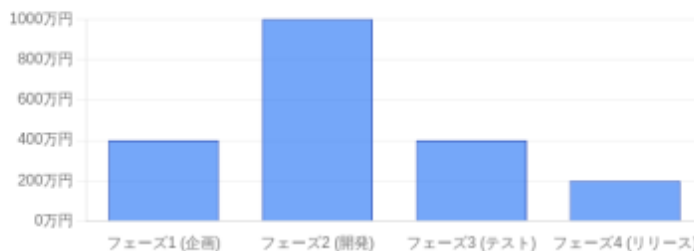
カテゴリ別予算配分



主要支出項目詳細

カテゴリ・項目	金額 (円)	割合
人件費	12,000,000	60%
開発者 (3名)	7,500,000	37.5%
PM (1名)	2,500,000	12.5%
SM (1名)	2,000,000	10%
開発ツール・インフラ	4,000,000	20%
テスト環境	2,000,000	10%
その他経費	2,000,000	10%

開発フェーズ別予算配分



予算管理方針

月次予算レビュー

実績と計画の差異分析・対応策検討

変更予算プロセス

10%以上の変更は承認プロセスが必要

コスト効率化目標

予算の5%削減を目標に効率化を推進

予備費確保

総予算の5% (100万円) をリスク対応用に確保

投資対効果 (ROI) 予測

AI導入コスト削減

予測: 年間1,200万円削減

運用効率化

予測: 工数30%削減

ライセンス最適化

予測: 年間800万円削減

ROI達成期間

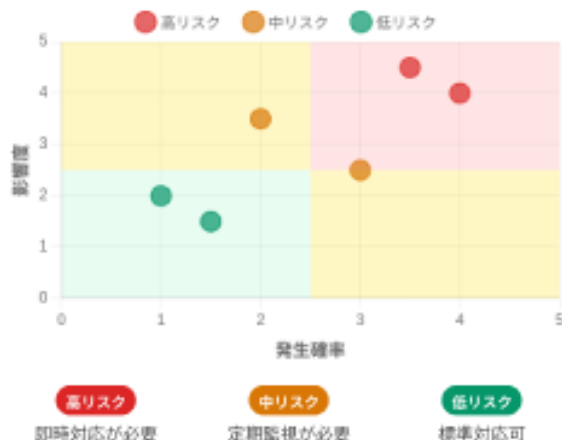
予測: 1年8ヶ月



リスク管理アプローチ

アジャイル開発における継続的なリスク特定・評価・対策プロセスを採用し、プロジェクトの確実な遂行を目指します。

リスクマトリックス



主要リスクと対応策

優先度	リスク	影響	対応策
高	技術的な複雑さ	開発遅延、品質低下	- 早期POCの実施 - 専門家レビュー導入 - スプリント計画の調整
高	要件変更の頻発	スコープクリープ、納期遅延	- 変更管理プロセスの厳格化 - 優先順位付けの徹底 - ステークホルダー合意形成の強化
中	リソース不足	品質低下、機能制限	- スキルマトリックスの整備 - 外部リソースの事前確保 - クリティカルパスの最適化

リスク監視プロセス

- 1 週次リスクレビュー：スクラムミーティング内で実施
- 2 スプリントごとのリスク評価：優先度の再評価
- 3 リスク対応チェックリスト：アクション実施状況確認
- 4 月次リスクレポート：ステークホルダーへの報告

リスク管理の役割と責任

プロジェクトマネージャ

- リスク管理計画の策定
- リスク対応の最終責任
- エスカレーションの判断

スクラムマスター

- 日常的なリスク監視
- チーム内リスク対応促進
- 障害の除去支援

開発チーム

- 技術的リスクの特定
- 対応策の実施と報告
- 新規リスクの早期報告

エスカレーションプロセス

レベル1

チーム内で解決可能な問題
週次報告のみ

レベル2

PM/SMの介入が必要な問題
48時間以内に対応

レベル3

スコープ/予算/納期に影響
24時間以内に対応・報告

レベル4

プロジェクト継続に関わる問題
直轄エスカレーション